

日本物理学会

# 物理学者から見た 原子力利用とエネルギー問題

福島第一原子力発電所の事故は、社会に大きな衝撃をもたらしています。  
今回の事故を物理学者としてどのように認識、理解し、  
さらに、我が国のエネルギー源の将来をどう考えるかについて  
議論するため、シンポジウムを開催いたします。

◆日 時：平成23年6月10日(金)  
13:00~18:00(開場12:30)

◆場 所：立教大学池袋キャンパス  
太刀川記念会館3F多目的ホール(150名収容)  
アクセス：<http://www.rikkyo.ac.jp/access/ikebukuro/direction/>  
<http://www.rikkyo.ac.jp/access/ikebukuro/campusmap/>

◆参加対象：日本物理学会会員および関連研究者

## プログラム

- はじめに ————— 永宮正治(日本物理学会会長)
- 福島第一原子力発電所事故について:原子炉の立場から  
————— 田中俊一(元日本原子力研究開発機構特別顧問)
- 原子核物理と原子力 ————— 井上 信(京都大学名誉教授)
- 放射線防護の立場から  
————— 柴田徳思(日本原子力研究開発機構 J-PARCセンター)
- 物理学者の取り組み  
————— 大塚孝治(東京大学原子核科学研究センター)
- エネルギーの現状と将来 ————— 有馬朗人(武蔵学園)
- 日本のエネルギー、世界のエネルギー  
————— 北澤宏一(科学技術振興機構)
- 高効率太陽電池を目指したシリコン多結晶の  
高品質化結晶技術の研究開発  
————— 中嶋一雄(京都大学客員教授)
- おわりに ————— 倉本義夫(日本物理学会副会長)

主催：社団法人 日本物理学会  
〒105-0004 東京都港区新橋5-34-3 栄進開発ビル5F  
TEL : 03-3434-2671

協賛：立教大学理学部